

(社)日本原子力学会 標準委員会 研究炉専門部会  
第2回 放射線遮蔽分科会 (R2SC) 議事録

1. 日時 平成13年3月5日 (月) 13:30~16:30

2. 場所 (社)日本原子力学会 会議室

3. 出席者 (敬称略)

(出席委員) 平山 (主査), 三浦 (副主査), 山野 (幹事), 石川, 上松, 小田野, 近藤, 坂本, 佐藤, 清水, 秦, 辻, 林, 林田, 播磨, 見上, 森島 (17名)

(常時参加者) 黒澤 (1名)

(傍聴者) 安納 (1名)

(事務局) 太田, 市園

4. 配付資料

R2SC2-1 第1回放射線遮蔽分科会(R2SC)議事録 (案)

R2SC2-2 標準委員会の活動状況

R2SC2-3 免責条項/著作権/標準の利用にあたって

R2SC2-4 遮蔽標準重要度分類

R2SC2-5 標準化課題

R2SC2-6 簡易遮蔽計算法への要望

R2SC2-7 日本工業標準調査会のホームページQuestion & Answer

R2SC2-8 新しい $\gamma$ 線減衰係数とビルドアップ係数

R2SC2-9 光子断面積データ及び線量換算係数

参考資料

R2SC2-参考1 標準委員会等の開催予定と実績

R2SC2-参考2 放射線遮蔽分科会委員名簿

5. 議事

(1) 出席委員の確認

事務局より、出席者の確認の結果、17名の委員全員の出席があり、決議に必要な委員数(12名以上)を満足している旨の報告があった。

(2) 前回議事録の確認

前回議事録の確認を行い、承認された。(R2SC2-1)

(3) 標準委員会等の活動状況について

事務局より標準委員会等の活動状況の報告があった。(R2SC2-2)

(4) 検討範囲とスケジュールについて

山野幹事及び坂本委員より各委員から寄せられた検討課題、スケジュール等について説明が行われた。(R2SC2-4,5,6) また、坂本委員より標準化について日本工業標準調査会HPの質疑応答集について説明が行われた。(R2SC2-7)

- 線源として分かっているものについて標準としてまとめたい。スカイシャイン、ストリーミングについては、次のステップとすることもできる。
- 標準化の可否が重要であり、標準のデータと評価のためのデータを集めることができるかを観点に検討したい。
- 新障害防止法を考慮し進めたい。
- 線量換算係数の内挿法や目や皮膚の線量評価方法の標準化を行いたい。
- 陽イオンや重粒子については疑問が残っているところもある。
- S nコードの検証についてその妥当性が問われているケースもある。
- 線源については、細かい議論になっており、標準化が可能であるか疑問である。遮蔽計算は計算コードに依存するものの、係数については標準化できるのではないか。
- 計算法の標準化は難しいのではないか。ライブラリの整備はユーザーとして好ましい。
- 標準化が可能なものを抽出し、その中から標準化する項目を選び出す方法もある。
- 乾式キャスクの評価、遮蔽計算におけるコンクリート密度の根拠がANS等を用いており、学会で標準化したい。
- R I線源については、データが整備されており、標準化を行いたい。
- R I線源についてどのようなデータがあるか示したい。
- 得意分野の人に参加してもらうことや委員構成を変えていくこともできる。

- ・ 標準のユーザーとしては、いくつかの評価方法について推奨順位が有る方が好ましい。
  - ・ 推奨するので有れば、データの評価が必要であり、評価できないものは標準化できない。
  - ・ 当面（1～2年間）は、遮蔽計算データに絞ることとしたい。
  - ・ 本分科会でできない範囲については、必要に応じ作業会を作りたい。
  - ・ 使える標準とすべきであり、標準化したい内容、範囲を定める必要がある。
  - ・ ニーズ調査も重要であり、調査結果をテーマとして残しておくこともできる。
  - ・ 研究炉専門部会への報告によりある程度のニーズ調査ができるのではないか。
- 等の意見があった。

（5）簡易遮蔽計算への要望について

坂本委員より簡易遮蔽計算への要望、 $\gamma$ 線減衰定数とビルドアップ係数及びPHOTXデータライブラリの紹介が行われた。（R2SC2-6,8,9）

（6）役割分担について

検討項目と担当委員を以下の通りとし、方向性と課題の整理を行うこととした。

（ ）内は取り纏め担当

- 線量換算係数 （佐藤委員），坂本委員，平山主査
- ビルドアップ係数 （坂本委員），清水委員，秦委員，播磨委員，平山主査
- スカイシャイン （林委員），石川委員，林田委員+ $\alpha$
- ストリーミング （三浦副主査），秦委員，小田野委員，佐藤委員
- 遮蔽材料 （上松委員），見上委員，近藤委員，辻委員
- 既存データ・標準の調査（小田野委員），坂本委員，森島委員
- アルベドデータ （三浦副主査），秦委員
- 群定数ライブラリ （山野幹事）

（7）今後の予定

第3回分科会を4月13日（金）午後開催することとした。

以上